

学校機能評価

本校では教育の質の向上をはかり、充実した学校運営を検討するため、平成 28 年度より学校運営に関する自己評価を開始。

評価内容区分は 5 領域（1 教育理念・目的、2 教育課程・活動、3 学生生活への支援、4 管理運営・財産、5 施設設備）から 18 項目を選択し、「5 よい」、「4 ややよい」、「3 普通」、「2 やや不十分」、「1 不十分」の 5 段階で学生アンケートにより評価を実施。

専門課程、高等課程それぞれの結果は以下の通りである。

平成 28 年度学校機能評価

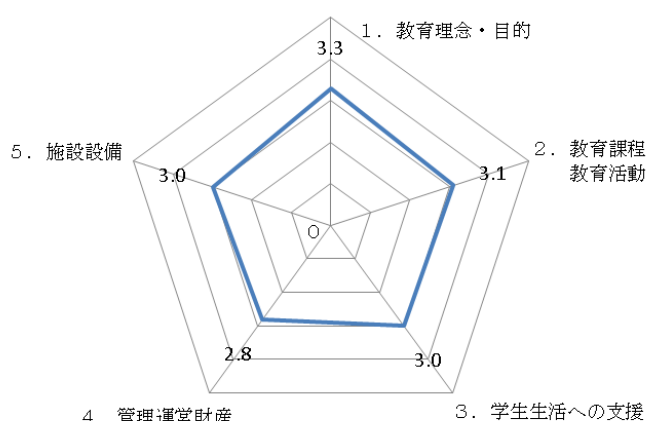
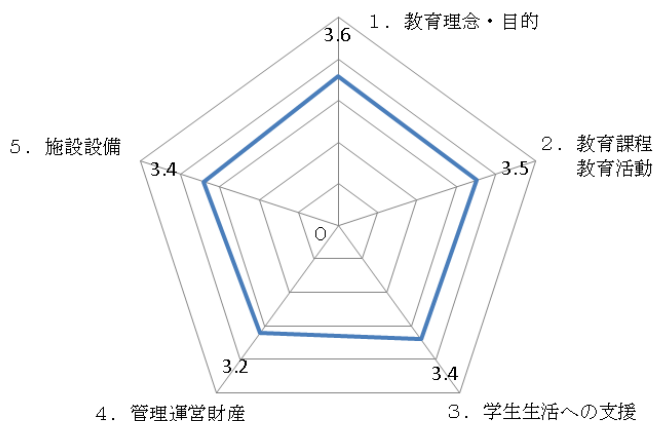
1、結果

専門課程

1.教育理念・目的	2.教育課程教育活動	3.学生生活への支援	4.管理運営財産	5.施設設備
3.6	3.5	3.4	3.2	3.4

高等課程

1.教育理念・目的	2.教育課程教育活動	3.学生生活への支援	4.管理運営財産	5.施設設備
3.3	3.1	3.0	2.8	3.0



2、分析

専門課程アンケート結果は全ての領域において「3」以上の評価となった。「管理運営財産」の評価が「3.2」と若干低い結果で、計画的な備品の充実・整備は次年度の課題である。

高等課程アンケート結果は 5 領域すべての評価が「3」前後という結果で、特に「管理運営財産」の評価は「2.8」と低い。学習・実習に必要な備品の充実・整備を計画的にはかる。

今回の評価結果には反映されていないが、専任教員の担当する科目、単元毎に学生からの授業評価をうけており自己評価もふまえ今後の授業に活かせるように取り組んでいる。

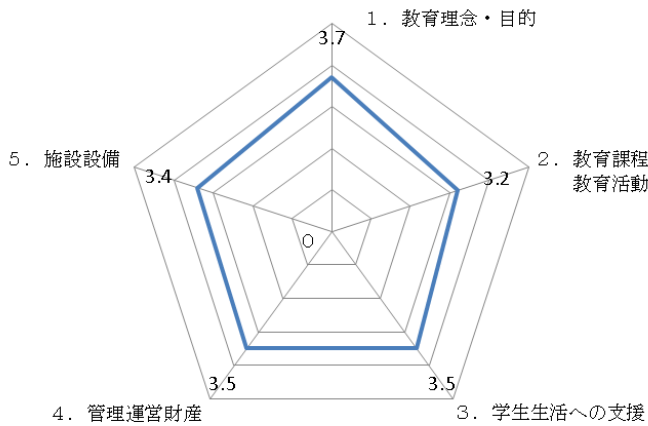
教育の質の向上のため、より高い評価結果を得られるように努力していく。

平成 29 年度学校機能評価

1、結果

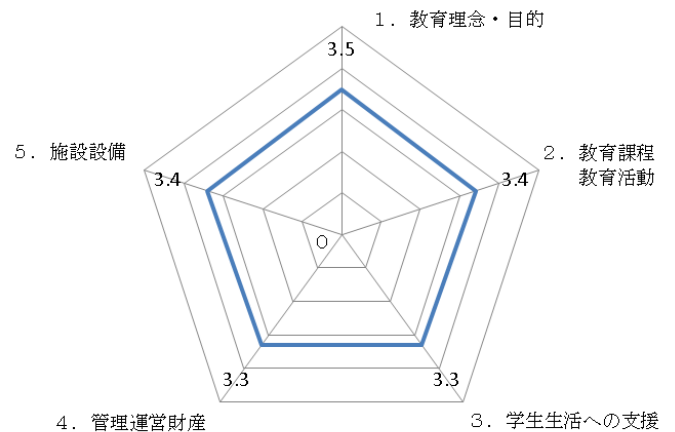
専門課程

1.教育理念・目的	2.教育課程教育活動	3.学生生活への支援	4.管理運営財産	5.施設設備
3.7	3.2	3.5	3.5	3.4



高等課程

1.教育理念・目的	2.教育課程教育活動	3.学生生活への支援	4.管理運営財産	5.施設設備
3.5	3.4	3.3	3.3	3.4



2、分析・今後への活用

28年度と同様の内容で学校運営評価を実施。

高等課程、専門課程両課程とも全ての項目で若干ではあるが評価結果は向上。

昨年度、評価の低かった「管理運営財産」について今年度は学内演習物品を購入、計画的に充実をはかったため評価の向上につながった。

今後は母子看護に関する物品、時代の変化に見合った教材・教具の充実を考えていく。また、学生からの自由意見では「外部講師の授業アンケート」を実施して欲しいという意見が複数あり平成30年度から外部講師授業アンケートを実施する予定。

アンケートの回収率は全体的に高いが項目によっては十分に学生の意見が反映されているとは考えにくい評価結果である。

学校機能評価を開始し3年目になる。評価内容区分、項目、評価方法の見直し・検討が必要であると考え。より質の高い教育の実施をめざし学校機能評価の充実をはかる。